

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

## 1. 建物概要

建物名称	台和新潟工場	
建設地	南区	
用途地域	指定なし	
建物用途	事務所, 工場,	
竣工年	2011年7月 予定	
敷地面積	19,030.60 m <sup>2</sup>	
建築面積	5,077.70 m <sup>2</sup>	
延床面積	5,103.70 m <sup>2</sup>	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2010年12月20日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{44}{39} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	2.2		バリアフリー	1.0
			維持管理	3.0
			更新性	2.6
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	2.4		耐震・免震	3.0
			信頼性	1.8
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	2.0		雨水排水負荷低減	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物の熱負荷抑制	5.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.3		節水	3.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.5		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	2.0

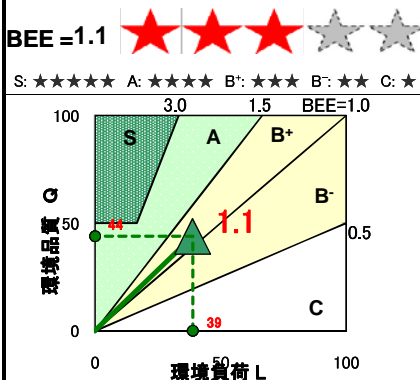
## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

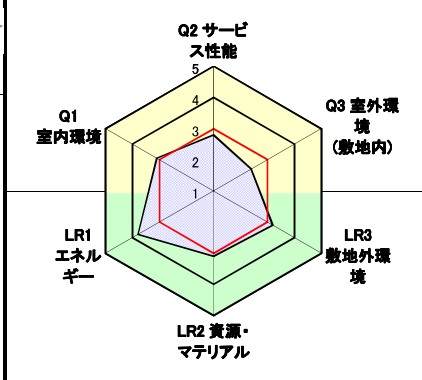
# CASBEE®新潟 | 評価結果内訳 |

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

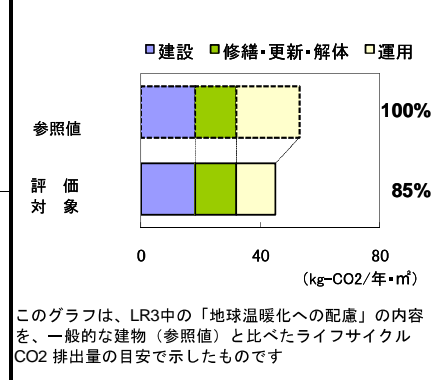
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



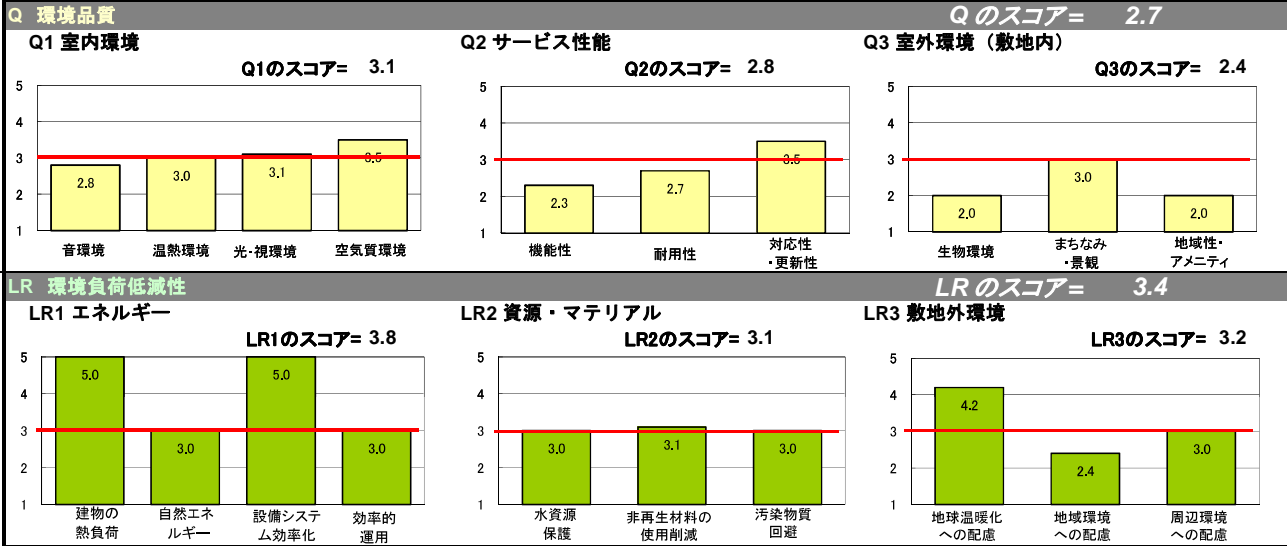
## 2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 2-5 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 一部構造体を木造とすることにより、断熱性能を上げ省エネルギーに配慮すると共に、再生可能資源を多用したり、解体のリサイクル率を上げることで地球環境の負荷を少なくする	<b>その他</b>
<b>Q1 室内環境</b> 断熱性を高め、自然光を取り込むことにより執務の効率性を高める。非喫煙コーナーを設け非喫煙者との分煙を配慮する。	<b>Q2 サービス性能</b> 高い天井高、広い開口とし、自販機コーナー、喫煙コーナーを設け快適な作業環境を整える。外部からの防塵防虫対策に配慮し内部にも防汚性の高い材料、納まりとする。
<b>LR1 エネルギー</b> 照明器具を省エネタイプとし消費エネルギーを小さくする	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 木造とすることにより、持続可能な森林から産出される木材使用量を増やす
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物を平屋建てとし、敷地外周に高木を配することにより、外部景観に配慮する。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 騒音、振動、悪臭等の少ない工場であるが、さらに周辺環境を害さない工場を目指す

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される